

令和5年度第6回理事会議事録

日時：令和6年1月13日(土) 13時30分～16時

場所：鹿児島県看護研修会館2階研修室

I 理事会の構成

理事：17名 監事：2名 合計19名

II 理事の出欠確認

出席理事 17名

会長 八田冷子(代表理事)

副会長 田畑知子

副会長 渡邊和代

専務理事 今村 恵

常任理事 林 恵子

職能理事 吉田美佳、潟山勝美、谷川智子、柳田千草

准看護師理事 徳永博子

地区理事 西野富士子、牧枝さとみ、田口弥生、新井田香、三島潤子、近間眞由美、
森田英樹

III 監事の出欠確認

出席監事 2名(全員出席)

永山広子、岩重洋一

IV 会長挨拶(略)

V 定足数の確認

定款第40条に基づく議決に加わることができる理事16名(会長=議長は除く)全員の出席は、議決に加わることができる理事16名の過半数8名以上であることから本会は有効に成立することを確認した。

以後、会長(定款第39条)が本会の議長となり、以下のとおり進行した。

VI 協議事項

1 基本方針

1) 令和6年能登半島地震の対応について

専務理事は次のように説明した。

日本看護協会は、1月6日から病院や避難所に災害支援ナースを順次派遣するとともに、日本看護協会長がホームページにメッセージを掲載。

県看護協会では、北陸4県の看護協会長へのお見舞いのメールを送信したほか、日本看護協

会からの情報に基づき、県内の災害支援ナース登録施設へ情報提供を行っている。また、協会内に義援金箱の設置や、派遣に備えて必要物品を準備している。以下、県保健師や医師会等も派遣に向けそれぞれ準備中である。

2) 令和5年度鹿児島県看護協会事業検討会を踏まえての今後の取組について

専務理事は、次のように説明した。

前回の事業検討会時の協議事項の主な意見や、後日の対応・業務執行理事会等での検討状況については以下のとおりである。

① 保健師職能委員会

看保連携については、大島地区や大隅地区は取り組んでいるところである。保健師管理期交流会で会員確保や看保連携の重要性を周知する。

② 助産師職能委員会では

アドバンス助産師については、周産期医療協議会を通して県の8次保健医療計画に入れてもらう。

③ 看護師職能委員会 I

准看護師の研修参加者が少ない。看護師職能委員会 II に准看護師が多いことから、看護師職能委員会 I・II を合同研修会とし対象を看護師・准看護師とする。

④ 教育委員会

令和6年度の研修計画については、日看協の教育計画を受けて2月の運営委員会で検討し、3月の理事会で提示する。

その他医療・看護安全対策検討委員会、災害・感染症医療業務検討委員会、地区活動等、他の委員会等についてもそれぞれ説明した。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2 事業推進に関する事項

1) 第8次保健医療計画等に関連して当看護協会から県への提言について

会長は次のように説明した。

次期鹿児島県保健医療計画（素案）に対して看護協会が提案している主なものについて以下のように説明。地区からもパブコメ等も活用して意見を出していただきたい。

- ① 看護の日の普及啓発をはじめとした看護の魅力発については、県政広報番組や広報誌を活用し関係団体と連携して進めること。
- ② 糖尿病治療・合併症予防に関しては、外来機能の明確化及び多職種連携を図ること。
- ③ 感染管理認定看護師の目標設定 など

また、周産期・小児医療協議会での意見に対する県の対応状況、県医師確保計画(素案)、県歯科口腔保健計画、高齢者保健福祉計画専門部会等への意見についても説明した。

このことについては、出席者全員の賛成があり承認された。

3 管理的事項

1) 令和6年度改選役員・推薦委員並びに2025年度代議員及び予備代議員の推薦状況について

専務理事は次のように説明した。

現時点の推薦状況について説明するとともに、今後とも推薦に関する協力をお願いした。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2) 県看護協会建設準備委員会について

会長は、事務局長が説明することを出席理事に承認を得た後、事務局長は次のように説明した。

12月21日(木)に開催した建設準備委員会で論議された主な事項は以下のとおりである。

まず、委員会メンバーに、今回新たに当協会渡邊副会長と建設に関する有識者として当協会会館の設計に携わっていただいた株式会社三反田設計に入っていたこと。

当協会としては、建替えは必要だが现阶段では、資金面や経済状況等を勘案し20年程度の長期保全計画を策定し、それに基づき改修を行った方が協会の運営的な面にも無理がないと思われる。

まずは、長期保全計画で、今後どのくらいの改修が必要でいくら経費がかかるか見極めて、この計画に基づき改修等で現状の会館の質を保全していく方向で進めていくとともに、もう少し長期的なスパンで資金積立てについても検討していくこととしたい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

3) 県看護研修会館壁補修について

昨年末に当協会の3階大研修室前の壁のタイルや2階男子トイレのタイルが剥がれ落ちたため、年末から年当初にかけて業者が見積もりを兼ねて点検と応急処置を実施した。

早急に修繕を行うこととしているが、事業執行に当たっては、現在工事金額は見積中で未定だが、今後の決算見込み等を勘案し場合によっては前回の空調機同様、会館建設改良積立資産(特定資産)を取崩で対応することとしたい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

4) 県看護協会ホームページについて

以下の理由等により県看護協会のホームページのリニューアル(作成)の企画提案募集を行

っている。

- ① 高度化・多様化する閲覧者のニーズやアクセシビリティへの対応が求められる中、管理運営が困難な状況となっている。
- ② カテゴリ分類やリンク・ナビゲーション等の適切な管理が困難となっている。
- ③ 協会会員のニーズを把握し、本協会に対して興味や関心、親しみを持ってもらうためのコンテンツが不足している。

上記を踏まえて実施要領のとおり、4月30日まで作成することとしたい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

4 会員支援関係

専務理事は次のように説明した。

1) 令和6年度鹿児島県看護協会名誉会員候補者について

公益社団法人鹿児島県看護協会名誉会員推薦規程及び平成24年11月17日の理事会で承認された事項を踏まえて、役職員歴は15年以上なくても、過去10年に遡り、最終の県看護協会会員時の年齢が75歳以上で、表彰する令和5年度に80歳以上の者を表彰することとし、大迫敏氏、川口ひろみ氏、江藤静子氏、溝添潔子氏の4名を候補者としてたい。

2) 令和6年度鹿児島県看護業務功労者知事表彰候補者の推薦について

鹿児島県看護協会会長表彰規程及び平成25年1月の理事会で承認された表彰推薦の考え方並びに今後の手続きの手順について説明した。

このことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

VII 報告事項

1 事業推進に関する事項

- 1) 教育事業について
- 2) ナースセンターに関連した事業について
- 3) 看護職員就業相談事業について
- 4) 今村節子先生祝フローレンス・ナイチンゲール記章受賞記念披露会について
- 5) 医療的ケア児等支援センターについて
- 6) 災害支援ナース養成研修及び今後の対応について
- 7) 「鹿児島県手をつなぐ育成会」賛助会員への加入申し込みについて

2 管理的事項

- 1) 職員の雇用状況について

2) 理事会議事録（第5回）について

3 会員支援

1) 令和5年度鹿児島県看護協会会員数及び令和6年度会員継続申し込み状況について

4 その他（理事会当日）

- (1) 日本看護協会理事会報告（口頭報告）
- (2) 職能委員会報告（書面報告）(3) 地区報告（書面報告）
- (4) 委員会報告（書面報告）(5) 地区長情報交換会報告（口頭報告）
- (6) 他団体会議報告（書面及び一部口頭報告）(7) 出張報告（県外）（書面報告）

以上、議長は協議事項が全てを終了した旨を告げ、16時に閉会した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議事録を作成し、次のとおり署名する。

令和6年1月13日

公益社団法人 鹿児島県看護協会

代表理事（会長）

八田 冷子 

監 事

永山 広子 

監 事

岩重 洋一 